



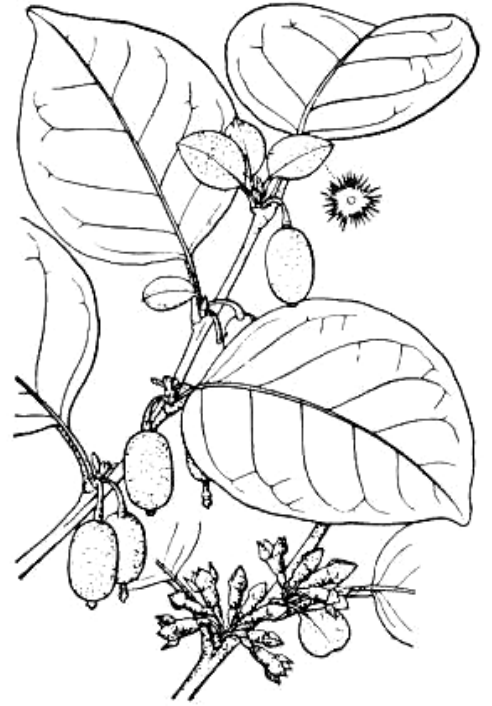
色彩館に咲く

グミ

Elaeagnus

グミ科グミ属

原産地：南ヨーロッパ、アジア、北アメリカ

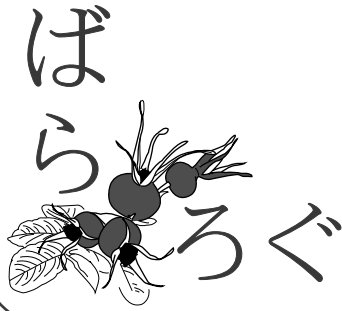


甘くて渋い秋の果実

グミは低木や小高木で、強い性質を持つ植物です。落葉性のあるものは耐寒性が強く、乾燥地ややせ地に強い種類、耐潮性の強い種類などがあります。その強さから海岸地域の防風林、やせ地の緑化用としても重宝されます。この強い性質の理由の一つとして根粒木であることがあげられます。根粒木とは、空気中の窒素を取り入れて自分の養分にできる木のことです。その為あまり土質を選ばなくてもよく生育することができます。強健であるほかに、葉や果実の観賞価値が高い種類もあり、常緑性で年中葉を茂らせるものは庭木や生け垣に使われたり、種類によっては果実などが食用にされたり、薬用にも使われます。グミには大きく分けて2つのグループがあり、春から夏にかけて実をつける常緑性のナワシログミのグループと、初夏から秋に実をつける落葉性のアキグミのグループがあります。ちなみに北海道でも越冬するのは、耐寒性が強い落葉性のアキグミのグループです。グミの実を食べたことがある人は、口の中がイガイガするような渋みを体験したことがあるのではないのでしょうか。グミは甘みと渋み

を併せ持つ独特な味をしています。この渋みが残るグミ独特の味を詠んだ詩や歌も多く、俳句ではグミは秋の季語とされています。実は木材としても利用され、粘り強く丈夫な材質から、昔は囲炉裏の上にかける「自在」という鍋や薬缶を吊り下げる部分や、鋤などの農具や大工道具の柄として利用されていました。

色彩館では園芸交雑種である2品種が植栽されています。この園芸交雑種は、常緑性のナワシログミ (*Elaeagnus pungens*) とマルバグミ (*Elaeagnus macrophylla*) の掛け合わせてできた種で、高さが2~3mになる低木です。いずれも葉を楽しむ観賞用の品種で、濃い緑に明るい黄金色の覆輪が入る‘ギルトエッジ’ (*Elaeagnus xebbingei* ‘Gilt Edge’) と、明るい黄緑色で葉の中央に黄金色の斑が入る‘ライムライト’ (*Elaeagnus xebbingei* ‘Lime Light’) があります。花は小さく、目立たない薄クリーム色ですが、良い香りがします。10月から11月に花を咲かせるので、現在色彩館のグミも開花しています。是非花の香りと葉を楽しみに来てくださいね。



冬が近づいてバラも越冬の準備に入ってきました。葉刈りから始まり、縄で支柱を結束したり、巻物（防風ネット、PP袋など）を巻いて冬囲いをしたりとやるべきことは様々です。当バラ園でも品種ごとに必要であるか選抜し、冬囲いを行っています。参考となるのは耐寒度を表すハーディネスゾーンがありますが、それでも岩見沢の気候に合わない品種も多くあるために、毎年春先に行っている凍害度のチェックを参考にし、品種によってどの段階まで冬囲いするかを決めています。あるいは株の生育具合によっても冬囲いの方が変わっていき、株が大きくなるにつれて枝が丈夫になり積雪で枝が折れることも少なくなると、冬囲いも少しずつ軽減されていきます。いずれはなにも冬囲いをしなくなるのが理想です。ただハイブリッドティー系などの大輪種に限っては毎年過保護に冬囲いする必要があります。品種のことを良く知り、それぞれの品種にあった冬囲いをしていくことが大事になりますね。

クリスマスオカリナコンサート

オカリナ 齊藤 かすみさん

ピアノ 家下 優子 さん

12/4 日

14:00~15:00

会場: いわみざわ公園バラ園
色彩館 大温室

当日は 13:00より
温室入園無料です

- てづくりローズヒップのリース販売
- 大温室イルミネーション装飾

などを予定しています

ぜひお越しくださいね♪

腐葉土の話



ザク、ザク、ザクリ。

気温が下がり、雪虫も飛び始めました。木々は紅葉と落葉を始め、落ち葉の絨毯ができる季節ですね。この落ち葉を堆積し攪拌することでできるのが腐葉土です。含まれている養分は少ないものの、じっ

くりと堆肥化するため腐植が多く、高い土壌改良効果があります。排水性や保水性向上などの物理的な効果の他、土中の微生物の餌となり活発化させる効果もあります。

腐葉土の作り方として堆積場を設ける本格的な方法もありますが、袋に詰めるだけの簡単な方法もありました。調べてみると他にも様々な作り方ありますので、機会があれば腐葉土づくりに挑戦してみてもいいでしょう。

よし
なし
ごと

ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト：藤川志朗
(イラストレーター)

第三十二回

フロリバンダ ローズ

ポンポネッラ

Pomponella

作出国：ドイツ

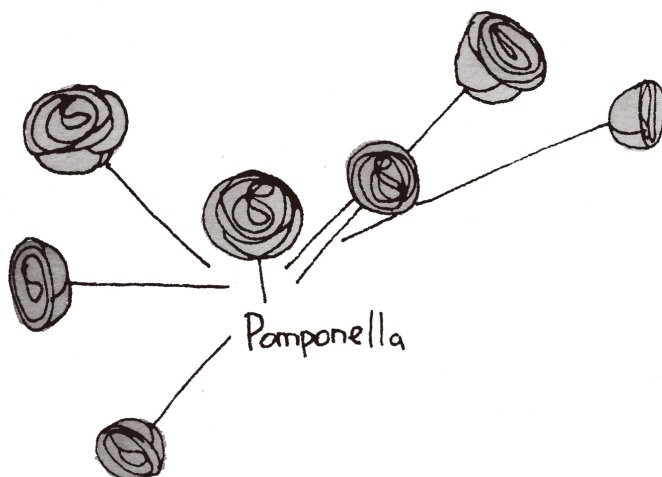
作出者：Kordes

作出年：2005年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：Unknown × Unknown



声に出して読みづらい品種名ですが、コロンとしたアンティーク感のある可愛らしいピンクのディープカップ咲きで、繰り返し咲き性が強く中小輪の花を秋遅くまで次々と咲かせます。系統はフロリバンダとされていますが、つるバラのように扱うことのできるクライミングフロリバンダという系統でもありアーチやポールなどに誘引することができます。また短く切り戻してコンパクトに扱うこともでき様々な使い方ができる品種です。葉は深い緑色の照葉なので花をよりいっそう引き立て、ほのかに香るリンゴのようなフルーティな香りが漂うのも魅力の一つです。黒点病にも強く強健であり、無農薬でも育てることができるバラが受賞できるADRを受賞しており、病気に強いということはお墨付きです。名前の由来は単純に花をイメージした「ポンポンのような」という意味でこの品種の花容にぴったりの名前ですよね。

この品種はつるバラとして人気の高いアン

ジェラという品種と似たような性質を持ち合わせていて、強健かつ多花性です。作出者が同じコルデスということで、血縁関係にあるのではと思われるところもありますが、ポンポネッラの交配親は判明されていません。これほどの強健性、開花性、香りと優秀な品種の親は気になります。管理者からしてもこの品種の安定感と花の存在感は目を張るものがあり、一般家庭でも化学薬剤を使用せず安心して栽培できる品種の一つでもあると思います。

当園でもこの品種は栽培しています。作出国がドイツということもあり耐寒性に優れており、ようやくポールの上部まで届きそうなくらい枝が伸び、見事な開花性を発揮しています。なによりも特筆すべきはやはり強健性で、当園でも病気には一切かからず健康な葉を繁らせています。また、年々株もボリュームアップして見ごたえが増していますので、是非当園に足を運んでください。



冬期間も営業中～！

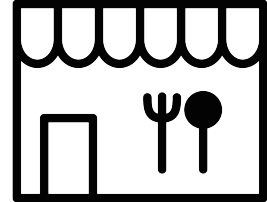
バラ園内にありますレストラン『PIZZERIA L u c c i』は冬期も営業中です。

営業は土日祝日のみで、営業時間は 11:30～15:00(ラストオーダー 14:30) で営業しております。

お問合せ  0126-31-6655

または 札幌本店へ  050-5798-2196

ピッツェリア ルッチ
PIZZERIA Lucci



11月の市民園芸講座のご案内

これは面白い！



- 11月13日(日) 13:00~15:00 観葉植物を楽しもう
無料 定員：40名 講師：椿豊さん Green Art 百々屋
- 11月20日(日) 13:00~15:00 実をたのしむ盆栽
料金：2,000円 定員：20名 講師：君島信博さん 草つ月
- 11月26日(土) 13:00~15:00 折りバラを楽しもう 中級
無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ
- 11月27日(日) 10:00~12:00
ローズヒップでクリスマスリースをつくろう
料金：1,000円 定員：5名 講師：バラ園スタッフ
- 12月10日(土) 13:00~15:00 体験してみよう！樹木の香り
料金：無料 定員：40名
講師：脇田陽一さん 道立総合研究機構 林業試験場 研究主幹
- 12月25日(日) 13:00~15:00 お正月のアレンジメント
料金：2,500円 定員：40名 講師：伊藤とみ子さん 中央フラワー協会